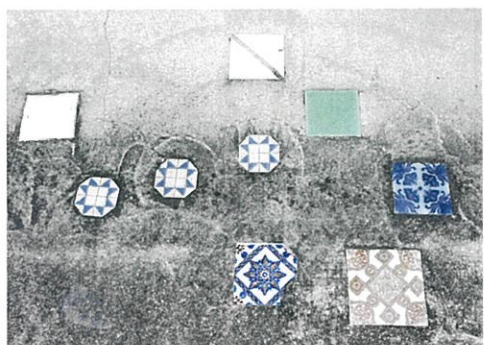


敷瓦の世界展関連企画 見学ツアー

# 「敷瓦のふるさと、瀬戸をめぐる」

明治時代、西洋のタイルを模して国産タイルが作られるようになる前から、釉薬のかかった本業瓦や、そこから発展した本業タイルが作られてきた瀬戸のまち。当時、どのように製陶業が行われていたのでしょうか？瀬戸市美術館の館長、服部文孝さんと一緒に、敷瓦のふるさとをめぐるみましょう。



◆講師 服部文孝（瀬戸市美術館館長）

◇開催日時 平成30年7月21日（土）  
午前10時～12時

◆集合場所 名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅前

◇概要 瀬戸の陶祖・磁祖ゆかりの地や瀬戸の独特の風景である窯垣などをめぐりながら瀬戸の歴史や文化に触れていただきます。

（見学予定地：窯神社・深川神社・瀬戸蔵など）

◆対象 中学生以上

◇定員 20名（先着順）

◆お申込方法

下記メールまたはFAXにて、①お名前、②人数、③ご連絡先をお知らせください。後日、担当から持ち物などご連絡いたします。

メール：info@mosaictile-museum.jp

FAX：0572-43-5114



MOSAIC TILE  
MUSEUM  
Tajimi

お問い合わせ先

多治見市モザイクタイルミュージアム（担当 村山）

住所 〒507-0901 多治見市笠原町2082-5

電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

URL <http://www.mosaictile-museum.jp>